



神を仰ぎ、人に仕う

# Chapel News

2016年4~5月 No.2

## 「小さなことに忠実であること」

新しい年度を迎えました。この一年を本学の礼拝をともにしっかり守っていきましょう。イエス・キリストの言葉に「ごく小さな事に忠実な者は、大きな事にも忠実である」(ルカ福音書 16章 10節)とあります。日常生活の中で私たちはいろいろな役割や責任を負われます。それがどれほど小さな事に見えとしても私たちはそれを誠実に果たすことが大事です。

先月、NHKの首都圏および全国放送で本学の学生諸君による被災地支援によって心に傷を負った当地の一人の少女が立ち直った様子が採り上げられ、全国に反響を呼びました。先月卒業したこの学生は一つのごく小さな事を人間として当然のように果たしました。それが社会に大きな感動を呼びました。大震災でご祖母を失って傷ついた一人の幼い少女が、本学の学生と桜を植え育てることで桜とともに成長しました。そして温かい手を差し伸べたあの学生もこの少女との出会いで「人間」を知り、困難を誠実に乗り越えて行く「人生の宝」を学んで成長しました。この大学には、単なる知恵や学問的知識以上に、礼拝をはじめとして皆さんの豊かな人間性をはぐむ精神や機会がたくさんあります。

大学は学ぶためにあります。それは学んで周りの人々を見上げるためにするものではありません。学ぶことにより、私たちにはまだ分からないことばかりであることを自覚して益々謙虚になり、周りの人々が生き生きするよう力添えするためです。本学の学びはそのことを目的とします。私たちが「学ぶ」ということ、それも「小さなこと」ですが、卒業までその小さな「学ぶ」ことに誠(忠)実に取り組んでこそ、社会へ巣立って「大きなこと」に誠(忠)実に取り組めるようになります。「敬虔と学問」それが「小さな」本学の使命です。誠(忠)実であるためには、この一年畏敬をもって神を礼拝することの学びを体験することです。この誠(忠)実な「学び」をとおして私たちは「大きな事」に誠(忠)実であったことを知るのです。

(学校法人聖学院理事長・院長 阿久戸光晴)

## 2016年度年間聖句

また、はっきり言うておくが、どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心を一つにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる。

マタイによる福音書 18章 19節

## 4月月間聖句

イエスは言われた。「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。」これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。「隣人を自分のように愛しなさい。」 マタイによる福音書 22章 37~39節

## 5月月間聖句

わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償うけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。

ヨハネの手紙 一 4章 10節

## 聖学院教会祈禱会

毎週木曜日 18時 40分~19時 40分、緑聖ホールC室にて行っております。どなたでも自由にご参加ください。

- ・4月 21日(木) ハバクク書 2章 東野尚志牧師
- ・4月 28日(木) ハバクク書 3章 菊地順チャプレン ーキャンパス祈禱会ー
- ・5月 5日(木) 〈休会です〉

## 全学礼拝期間について

2016年度春学期の全学礼拝は、下記日程で行っています。毎週火曜日から金曜日、14時 40分から 15時 10分です。どなたでも自由にご参加ください。

春学期/2016年4月8日(金)~7月21日(木)

## 主の祈り

天にましますわれらの父よ  
 ねがわくはみ名をあがめさせたまえ  
 み国をきたらせたまえ  
 みこころの天になるごとく  
 地にもなさせたまえ  
 我らの日用の糧を今日も与えたまえ  
 我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく  
 我らの罪をもゆるしたまえ  
 我らをこころみにあわせず 悪より救い出したまえ  
 国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり アーメン



4月19日(火)

奨励者 東野 尚志  
 (日本基督教団 聖学院教会牧師  
 ・大学附属みどり幼稚園チャプレン)  
 司会者 菊地 順  
 奏楽者 渡辺 善忠

◆ ◆ ◆

前 奏  
 讃美歌 二編 188 番 1、2 節  
 聖 書 ペトロの手紙 一  
 4 章 7～11 節(新約 P.433)

祈 禱  
 奨 励 「賜物を生かして」  
 祈 禱  
 讃美歌 二編 188 番 3 節  
 主の祈り  
 後 奏

4月20日(水)

奨励者 松本 周  
 (キリスト教センター主事・本学講師)

司会者 菊地 順  
 奏楽者 清水 貴子

◆ ◆ ◆

前 奏  
 讃美歌 二編 60 番 1、2 節  
 聖 書 ヨハネによる福音書  
 15 章 12～17 節(新約 P.199)

祈 禱  
 奨 励 「豊かに実を結ぶために」  
 祈 禱  
 讃美歌 二編 60 番 3 節  
 主の祈り  
 後 奏

4月26日(火)

奨励者 村松 晋  
 (日本文化学科長)

司会者 菊地 順  
 奏楽者 清水 貴子

◆ ◆ ◆

前 奏  
 讃美歌 130 番 1、2 節  
 聖 書 フィリピの信徒への手紙  
 2 章 10～11 節(新約 P.363)

祈 禱  
 奨 励 「日曜の礼拝の意味」  
 祈 禱  
 讃美歌 130 番 3 節  
 主の祈り  
 後 奏

4月27日(水)

奨励者 高橋 義文  
 (総合研究所長)

司会者 阿部 洋治  
 奏楽者 松本 周

◆ ◆ ◆

前 奏  
 讃美歌 291 番 1 節  
 聖 書 ローマの信徒への手紙  
 8 章 28 節(新約 P.285)

祈 禱  
 奨 励 『『流れる時間』と  
 『熟成する時間』』  
 祈 禱  
 讃美歌 291 番 2 節  
 主の祈り  
 後 奏

4月21日(木)

奨励者 清水 均  
 (副学長・人文学部長)

司会者 阿部 洋治  
 奏楽者 金 サラ(1130)

◆ ◆ ◆

前 奏  
 讃美歌 二編 196 番 1 節  
 聖 書 ヨハネの黙示録  
 3 章 20 節(新約 P.457)

祈 禱  
 奨 励 「扉をひらいて」  
 祈 禱  
 讃美歌 二編 196 番 2 節  
 主の祈り  
 後 奏

4月22日(金)

奨励者 D. バーガー  
 (欧米文化学科長)

司会者 柳田 洋夫  
 奏楽者 今村 優子

◆ ◆ ◆

前 奏  
 讃美歌 385 番 1、2 節  
 聖 書 ルカによる福音書  
 24 章 13～35 節(新約 P.160)

祈 禱  
 奨 励 「エマオへの道」  
 祈 禱  
 讃美歌 385 番 3、4 節  
 主の祈り  
 後 奏

4月28日(木)

奨励者 古谷野 亘  
 (人間福祉学部長)

司会者 阿部 洋治  
 奏楽者 田邊 純一

◆ ◆ ◆

前 奏  
 讃美歌 354 番 1、2 節  
 聖 書 詩編 23 編  
 (旧約 P.854)

祈 禱  
 奨 励 「がんばりすぎない」  
 祈 禱  
 讃美歌 354 番 3、4 節  
 主の祈り  
 後 奏

5月6日(金)

奨励者 田中 かおる  
 (日本基督教団 安行教会牧師  
 ・本学講師)

司会者 柳田 洋夫  
 奏楽者 倉橋 基

◆ ◆ ◆

前 奏  
 讃美歌 二編 188 番 1、2 節  
 聖 書 ルカによる福音書  
 2 章 20 節(新約 P.103)

祈 禱  
 奨 励 「神から与えられた使命」  
 祈 禱  
 讃美歌 二編 188 番 3 節  
 主の祈り  
 後 奏